

産業

第1次産業

農業



恵まれた気候風土を活かし、オクラやブロッコリーなどの露地栽培、ネギやミョウガ、イチゴなどの施設園芸、海に面した南斜面での文旦や小夏などの果樹栽培が盛んに行われています。

農家の高齢化により、担い手の減少や耕作放棄地の増加といった問題を抱えています。果樹農家においては、「稼げる農業」として若い後継者が着実に育っており、また、施設園芸については経営的に安定が見込める農業として、他業種から担い手の参入が相次いでいます。宿毛市の魅力ある産業として、今後も最大限の支援を図っていきます。

水産業



ブリやマダイなどの魚類養殖業と釣りや中・小型まき網漁業など、温暖で静穏な宿毛湾や天然資源の豊富な沖の島・鶴来島の周辺海域といった恵まれた自然環境を背景に発展してきました。特に養殖ブリの生産量は全国シェアトップ10に入るなど、宿毛市の重要な産業となっています。養殖業を中心に若い後継者は育っていますが、漁業者の高齢化や担い手不足など、漁業や漁村を取り巻く環境は厳しい状況下にあります。

林業



宿毛市の面積のうち森林の割合は約84%となっており、そのうち人工林率は約60%と高く、樹種はヒノキが大部分を占めています。宿毛市のヒノキは木肌が淡紅色で油脂分を多く含み腐りにくいことから「幡多ヒノキ」と呼ばれ、市場で高く評価されています。多くのヒノキが植樹後50年を超え主伐期を迎えています。

このため、森林組合や林業事業者等と連携した計画的な森林整備及び地域おこし協力隊制度を活用した担い手確保等に取り組んでいます。

第2次・第3次産業

高知西南中核工業団地



宿毛市の東部、平田町戸内地区に位置する「高知西南中核工業団地」は、昭和63年第1期分譲開始から数えて30年以上の長きに渡り宿毛市産業の中核となっています。

立地企業については、電子・精密機械、木質バイオマス発電所など県内外の企業21社と物流組合グループが操業しており、高知県西南部最大の産業集積地域として、宿毛市の雇用のみならず、幡多地域全体の大切な雇用の場となっています。

宿毛湾港工業流通団地



宿毛湾港は、四国の西南部、宿毛湾の奥部に位置し静穏な海域を有する立地条件を活かし、古くから天然の良港として、地域経済を支える港として発展してきました。昭和61年には、国の重要港湾にも指定されており、4万トクラスの大型船舶にも対応可能な岸壁（水深13m）のほか、3バースを整備しています。「宿毛湾港工業流通団地」では、造船や食品加工の企業3社が操業し新たな産業集積地域となっており、物流拠点としての期待も高まっています。

商工業



「働くなら宿毛市」を目指し、創業・事業承継者らに向け宿毛商工会議所と連携して相談に対応するほか、情報発信、人材教育の機会の提供を行うなど、中小企業等の販路の開拓も支援しています。

また、農水産物等の地域資源を活用した商品開発・製造・加工などの地場産業（地域産業）活性化のため補助事業を実施するなどの取り組みを進めています。